

2008年度 予算編成方針

I. 予算編成に当たって

2008年度事業計画書（案）に示された重点的キャンパス整備計画・特定施策の推進に加え、教学の運営体制の整備、教育関連実施計画の推進、研究関連実施計画、社会貢献・連携・共同事業、施設設備整備計画、管理運営、財務計画等の実施に焦点を当て、2008年度の予算編成方針を策定しました。

その際、特に教育・研究をめぐる厳しい競争環境の中、「教育の質の保証」、「研究の質の向上」、「社会連携の強化」、「国際化の進展」を目途に、本学の理念に基づいた展開を予算に反映させるには、学費に加えて学費以外の外部資金確保のための明確な経営戦略、なかんずく財務戦略の構築が不可欠な課題とされます。

こうした観点から2008年度は、喫緊のプログラムの支援と将来資金の維持を含めバランスの取れた支出政策を推進します。

II. 予算編成上の主な内容

1. 教育関連実施計画の推進に伴う予算措置を図ります。

(1) 開設に伴う経費

- ① 国際日本学部国際日本学科
- ② 農学部食料環境政策学科
- ③ 大学院教養デザイン研究科教養デザイン専攻
- ④ 大学院情報コミュニケーション研究科情報コミュニケーション専攻
- ⑤ 大学院理工学研究科新領域創造専攻

(2) 教育改革の支援

「教育改革支援本部」におけるG P等の活動推進。

(3) 国際交流の進展

- ① 大学間（研究者・学生）交流の推進
- ② 大学間コンソーシアムの拡充

(4) 教育開発・支援センター関連経費の確保及び学習支援活動の推進

(5) 就職・キャリア形成支援センター充実策の支援強化等

(6) 入学センターの展開支援

(7) 「教育の情報化推進本部」及び「情報基盤本部」教育環境のプレゼン化等の積極的展開支援

- ① 学生証のICカード化
- ② 教学系システムハードウェア更新
- ③ M I N D基幹系ネットワーク関連機器更新
- ④ 法人系システム開発関連推進
- ⑤ ソフトウェアライセンスの管理体制強化（マイクロソフト社ソフトウェア製品の大学包括契約締結）

- (8) 学生支援の充実・展開
 - ① 学生の自立支援策としての課外教育プログラムの充実，課外活動奨励の推進
 - ② 学生相談業務の充実策の推進
 - ③ 学生の福利厚生に関する諸策の推進
 - ④ 大学スポーツ振興の支援と強化
従来からの体育振興対策の見直しを含め，体育会運動部指導者に対する待遇改善及び諸強化対策の推進
 - ⑤ 奨学金制度の充実
 - ⑥ 厚生施設（セミナーハウス・寮）関連の改善
 - ⑦ ボランティアセンターの充実
- (9) 国家試験指導センターの施設拡充及び国家試験対策の強化
- (10) 文化プロジェクトの継続推進
- (11) 付属校・系列校等に関する政策の展開支援

2. 研究関連実施計画の推進に伴う予算措置を図ります。

- (1) 研究・知財戦略機構の推進
 - ① 特別推進研究インスティテュート
 - ② 新領域創成型研究・若手研究
- (2) 私立大学学術研究高度化推進事業への対応
次の研究分野については優先課題として積極的に取り組みます。
 - ① 2008年度に申請を行う事業4件
 - ② 2007年度に採択され2008年度に継続される事業4件
 - ③ 2006年度以前から継続される事業8件
- (3) 「産学官連携戦略展開事業（戦略展開プログラム）」（ポスト大学知的財産本部整備事業）への取り組み支援
「産学官連携戦略展開事業（戦略展開プログラム）整備構想
- (4) 研究活動のグローバル化
 - ① 国際的研究活動の推進
 - ② 国際研究機関との共同研究展開等
 - ③ 海外拠点（明治大学マレーシア・サテライト・オフィス等）の展開
- (5) 研究施設総合整備基本構想の推進
- (6) 産学官連携の推進
- (7) 特色あるプロジェクトの実施
故三木武夫氏関係資料調査・研究の推進，創立者出身地巡回展の開催及び戦没学徒兵の学術・研究の推進
- (8) 調布市・三鷹市遺跡調査研究の推進（継続）
明治大学遺跡調査室（仮称）による校地内遺跡の調査・研究

3. 社会貢献・連携・共同事業の推進に伴う予算措置を図ります。

- (1) 生涯教育としてのリバティアカデミー事業の推進
- (2) 秋葉原サテライトキャンパスの充実
- (3) 地域に開かれた心理臨床センターの相談活動の支援
- (4) 図書館の地域社会への開放・相互利用等の継続展開
- (5) 図書館資料の電子化の推進
- (6) 博物館の特別展，社会教育等の展開支援
特別展1件，博物館公開講座，記念館前出土漆器・木器の修復・保存・展示等の運営支援
- (7) 地域社会との協力・連携の展開支援及び父母会・校友会・連合駿台会等大学支援団体との共同事業の展開
- (8) 明治大学カード関連事業の推進
- (9) エネルギー・環境の対策と教育の推進
本学全体の環境保全活動の原則と位置づけられる「学校法人明治大学（駿河台地区）環境方針」に基づき，総合大学としてのエネルギー・環境対策を推進します。
- (10) 自治体との協定に基づく防災拠点整備計画の継続推進
- (11) ホームカミングデー（第11回大会）の開催

4. 教学運営体制の整備計画に伴う予算措置を図ります。

認証評価制度の推進

第三者評価委員会（法科大学院・ガバナンス研究科・グローバルビジネス研究科・会計専門職研究科）への対応及び理工学部と同評価委員会設置

5. 施設設備整備計画の推進に伴う予算措置を図ります。

- (1) 和泉新図書館の建設
- (2) 生田第二校舎D館（仮称）の建設
- (3) 国際交流会館（仮称）の建設
- (4) 農場統合化計画の経年整備
- (5) 登戸研究所展示資料館（仮称）の開設
- (6) 第三次総合事務システムの開発
- (7) 明治高等学校・中学校の教育環境整備拡充関連
- (8) 研究ラボタワー（仮称），スチューデントセンター（仮称），及び文化リエゾン棟（仮称）については，委員会等を設置し，その結論を待って必要な予算措置を講じます。
- (9) その他，環境整備のための改良工事は緊急性を考慮します。

6. 人事計画

- (1) 専任教員（客員教員含む。）任用計画に基づく採用

(2) 職員人事制度の再構築

(3) 給与等の待遇

教職員の給与等の待遇については、社会状況を考慮して慎重に取り扱うものとしします。

7. 事務機構改革

事務機構の推進関連経費（オフィス改修・業務調査・情報環境及びシステム整備）の確保

8. 財務計画

(1) 帰属収入

2008年度は、学費以外の受託研究費、指定寄付研究費等の外部資金等の受け入れ強化、文部科学省等による競争的補助金等の獲得及び受け入れ体制の強化、資産運用及び施設の外部貸し出し等の増収策等の多様な財源確保を目指し、帰属収入の安定的な確保を目指します。

(2) 募金計画

教育振興協力資金については、校友・父母への継続的な募金活動を行います。その他は、過去の実績に基づいて計上します。

(3) 消費支出

消費支出については、引き続き効率的な財政運営を行い、長期的な収支均衡を図ります。

① 経常的な経費については、2007年度予算額を基準とします。

② 政策経費については、重要性・緊急性を考慮して予算措置を図ります。

(4) 基本金組入計画

① 第1号基本金

2008年度に支出する土地、建物、構築物、機器備品、図書などの固定資産は取得後に組み入れます。組入対象資産の主なものは、国際交流会館（仮称）、生田第二校舎D館（仮称）等です。

② 第2号基本金

新規に生田第二校舎D館（仮称）、継続で農学部黒川農場、和泉新教育棟、和泉新図書館の建設資金を第2号基本金として設定します。

③ 第3号基本金

新たな第3号基本金は設定しません。創立者記念奨学基金の積み立ては予定します。

④ 第4号基本金

学校法人会計基準に基づき所定額を積み立てます。

以上